

2022年11月9日

神奈川県

環境農政局 環境部 資源循環推進課 御中

「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画（素案）」への意見

生活協同組合パルシステム神奈川

理事長 藤田 順子

私たち、パルシステム神奈川は、「生命を愛^{いのち}しみ、自立と協力の力で、心豊かな地域社会を創り出します」を理念とし、安心して暮らせる社会をつくるために神奈川県内で事業活動を行なっております。当組合では、組合員・県内外の生産者・メーカーとともに、容器包装の削減や独自の物流システムを活用したリユース・リサイクルなど、環境負荷の低減に長年にわたり取り組んできました。今回、意見を募集されている「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画」とも歩調をあわせ、プラスチック使用量を削減し、使用にかかわる環境負荷の低減や、豊かな環境の恵みを享受できる社会づくりに貢献したいと考えております。より良い計画づくりのため意見を提出させていただきます。

該当する項目・ページ : I 計画策定の趣旨等 1. 計画作成の趣旨 (1 ページ)

【意見】

計画策定の趣旨からは資源循環の重要性の認識と、これまでの取り組みからさらに条例を改正して計画を加速させたい思いが伝わります。県民がプラスチックごみ問題に理解と関心を持ち、リサイクルされずに廃棄されるプラごみ0を早期達成するため、実態調査等の情報公開が欠かせないと考えます。県民一人ひとりに伝わりやすい形での情報公開をお願いいたします。

該当する項目・ページ : VI 推進方策、2. プラスチックの再生利用等の促進、
(2) プラスチックごみの分別収集、再資源化の推進(21 ページ)

【意見】

計画には「事業者による再資源化の促進」を推進する施策として、○県民へ自主回収拠点等の情報発信、○事業者による先進的な取組みの情報発信、と記載されています。当組合でも特定のプラスチック類の自主回収をおこなっており、その他にもクリーニング店のプラスチックハンガーなど、回収品目を特定する事でマテリアルリサイクルにつなげている団体があります。広報は各団体でも積極的に進めていくべき事ではありますが、品目を特定した事業者の自主回収に出すことがマテリアルリサイクルにつながり、リサイクルの質を向上できることをぜひ伝えてください。

該当する項目・ページ : VII 各主体の役割 (24 ページ)

【意見】

当組合でも事業で排出するプラスチック削減に取り組む、3R をテーマに出前授業などの地域に向けた啓発活動を進めるなど、組合員（消費者）とともに持続可能な社会へ向けて環境活動を進めています。計画にもある『事業者の役割』を果たしていくため、実効性のある計画づくりをしたいと考えております。ぜひ県には普及啓発する上での資料や情報の提供も含め、各主体との積極的な関わりをお願いします。

該当する項目・ページ : VIII 計画の進行管理(25 ページ)

【意見】

2022年までの計画を踏襲し、今回の計画でも家庭・事業所から排出されたプラスチック類の有効利用率が指標とされています。2020年度有効利用率の実績は、一般廃棄物で98.5%、産業廃棄物で81.7%とすでに高い数値にあり、どのように有効利用していくか、有効利用の質にこだわっていく段階に来ていると感じます。

リサイクルの質の面でみると、国内で回収されたプラスチック類は、61%がサーマルリサイクル（熱回収）であり、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルへとまだまだ向上が求められる段階です。

指標として有効利用率ではなく、リサイクル手法ごとの比率など、質の向上を意識できる指標づくりと、質を向上させる施策の推進をお願いします。

以上